



● 校訓・めざす生徒像

自主 : 自ら考え行動し、新たな価値を創造する生徒
 友愛 : 自他を尊重し、他者と協働する生徒
 健康 : 心身ともにすこやかで、粘り強く挑戦する生徒

● めざす学校像

だれもが成長する学校
 みんなの学校（自分がつくる自分の学校）

● 学校教育目標

自ら考え、協働し、未来を創る生徒の育成

● 経営の基本方針

- ・だれもが学び、成長する環境づくり：学習権の保障、インクルーシブ教育システムの構築
- ・地域とともにある学校づくり：地域資源を活用した学びや地域に貢献する活動の推進
- ・時代に対応したシステムと組織的実践力の向上：業務改善・効率化、協働体制の整備

● 育成する資質・能力

土台となる力（「見えない学力」）

人を大切にする力

自分の考えをもつ力

自分を表現する力

チャレンジする力

知識・技能

何を理解しているか、何ができるか
 （生きて働く知識・技能の習得）

思考力・判断力・表現力

理解していること・できることをどう
 使うか（未知の状況にも対応できる
 思考力・判断力・表現力等の育成）

学びに向かう力、人間性

どのように社会・世界と関わり、より
 よい人生を送るか（学びに向かう力・
 人間性の涵養）

● 経営の重点

主体性と当事者意識の向上

- ・学校の取組や魅力の積極的な発信と「学校づくりに参画できる場」の明確化
- ・生徒による主体的な活動の推進と保護者・地域住民の参画機会の充実
- ・アンケートや各種会合等での意見の反映と工夫や貢献、成果の共有化

目的の共有

- ・教育活動や教職員の業務、家庭・地域と連携して行う活動等の目的（何のために、どのような課題を解決するために）の明確化と共有、活動途中・終了時の目的の再確認
- ・授業における「めあて」（なぜこの学習を行うのか・どのような力がつくのか）の可視化

家庭・地域・小学校等との連携

- ・情報共有や協議、協働活動の充実、一貫教育・学園教育、高等学校等との連携推進
- ・地域資源の活用、主体的な社会参画の推進

自律的に学ぶ力の育成による学力向上

- ・「体験する・感じる・考える・表現する」学習過程の重視
- ・「作りたい・調べたい・試したい」を引き出す授業づくり
- ・生徒自身が問いを持ち、考え、ICTを活用した共有活動を含む対話的な学びの推進
- ・問いかけや対話、振り返り活動やポートフォリオの活用等による学習コーチングの充実

尊重し応援し合う風土づくり

- ・違いを知り認め合う関係性の土台づくりに向けた「考えの交流が生まれる場」の設定
- ・「助け合い認め合う」価値の実感につながる、共通の目標に向け協働する活動の推進
- ・思いやりや応援の文化を促進する情報発信（たより、掲示物、放送）と活動の推進

自律性を高める生徒指導の充実

- ・家庭・地域との生徒指導観の共有（指導＝管理から支援＝考えさせる）
- ・教職員の対話力向上（傾聴・承認・問いかけ）と信頼関係の構築
- ・生徒一人ひとりの思いや状況の受容、課題場面における対話を通じた気づき・自己決定の促進
- ・情報共有・共通理解に基づいた組織的対応の徹底

健康な心と身体の育成

～自己調整力と体力の向上～

- ・定期的な自己評価活動を通じた心身の状態や生活習慣についての自己認識力の育成
- ・生活習慣の見直しやストレスコントロールなどのセルフマネジメント指導の充実
- ・日常的な運動機会の確保と達成感や運動の楽しさを実感できる活動の充実